

## 令和元年度 第2回 教育課程編成会議 議事録

日時 令和2年2月19日(水) 16:30～17:30

会場 専門学校山形V. カレッジ 特別教室

出席者 10名

委員長 山本 絵里子 専門学校山形V. カレッジ 校長

外部委員

鈴木 隆一 (株)でん六 代表取締役社長

佐藤 一 オーリンク(株) 代表取締役社長

岸 裕紀 (株)ウィル 代表取締役社長

半澤 和仁 東北電化工業(株) 総務部次長兼人事労務課長

鈴木 静江 学校法人山本学園竹田和裁研究所 事務長

本校委員

八矢 由子 教頭 総合ビジネス 医薬事務・企業会計 医療事務

渡辺 聡 情報システム AI・情報システム ICTクリエイト

堀川 栄美子 ファッション・プロモート

梅津 隆雄 建築

進行：教頭

### 1 委員長挨拶

お忙しい中お集まりいただき御礼申し上げます。

建築科について職業実践専門課程の申請を行っており、現時点で指摘事項等の連絡がないため順当に2月末までに認可が下りると思っている。合わせて5学科の認定となる。

今日山本学園高校で、NTTDOCOMO・トヨタ・山形市との共催で5Gを使用した遠隔拠点間を結ぶ公開授業を開催した。また先日今日山本学園高校及び本校に対し3Dプリンタの寄贈を受けた。竹田幼稚園ではテントウムシロボットを使用したプログラミングの授業を予定している。このような新しい取り組みに対し学園を上げて実施している。

ビッグデータの研修の中で、でん六様のデータを拝見し改めて感銘を受けた。

その他VRを販売に生かすこと等も検討中だ。

### 2 報告事項：教頭

(1) 教育活動について 令和元年10月～令和2年2月

11月 「犯罪被害者支援 県民のつどい2019」参加

学校、参加学生の広報啓発物作成協力に対し、山形県警・やまがた犯罪被害者支援センターから感謝状をいただく。

情報システム科、ICTクリエイト科、ファッション・プロモート科、

#### 公務員科

- 1 2月 国家資格の「フラワー装飾技能士 3級」合格  
ファッション・プロモート科2年
- 1月 竹田西部幼稚園との新春合同茶会を開催  
ファッション・プロモート科
- 1月 「認知症サポーター養成講座」を地域の方々と合同開催  
医薬事務・企業会計科、総合キャリア科、医療事務科
- 2月 公益社団法人やまがた被害者支援センターの活動支援のため、自動販売機売り上げから一部が寄付金となる「寄付金つき自動販売機」設置の協定を結んだ。
- 洋裁及び和裁で卒業生が技能五輪に出場した。洋裁で敢闘賞を受賞した。

#### (2) 令和2年度入学生について

- ① AI・情報システム科、ICTクリエイト科に留学生の受け入れ開始。
- ② 高等教育無償化支援制度を活用した高校生が、複数入学予定。

岸委員：留学生についてももう少し詳細を教えてください。

教頭：AI・情報システム科に23名、ICTクリエイト科に11名の予定。国籍はネパールが大多数でインドが少数。中には現地の大学を卒業した者もいる。

委員長：全員が国内の日本語学校に在籍しており。何とか会話できるレベル。日本語学校の所在地は、福岡・名古屋の人数が多く、当初考えていた仙台の人数は少ない。

教頭：日本語教育については本校入学後も実施していく。就職を考えると最低N3レベルが必要となる。

岸委員：住居はどうなるのか。

委員長：レオパレスと提携しており割安で提供してもらおう。複数人で同居する人が多いようだ。

#### (3) 補足事項

自己点検・自己評価の資料を配布しているのでこの後の協議で参考にしてほしい。

議長を鈴木隆一委員に委嘱

### 3 協 議

(1) 令和2年度カリキュラム編成に向けて

① AI情報システム科・情報システム科

渡辺委員：

次年度入学生から名称が、情報システム科からAI情報システム科に変更になる。

1年時のカリキュラムに関しては今年度とほぼ同様だが今後AI科目等で多少の変更を予定している。

2年次に関しては今年度と同様。

岸委員：データベースの授業はあるのか

渡辺委員：1年次でAccessの授業を、2年次でAccessVBAの授業を行っている。卒業制作で選択する学生もいる。

岸委員：プログラミング言語としてのPython, SQLの需要が高いようだがそちらはどうか。

渡辺委員：ハードウェア論、Accessの授業の中でSQLは多少教えている。PythonもAI関連の科目でやっていきたい。

② ICTクリエイト科

渡辺委員：

1年次に関しては今年度同様に前期に関してはAI情報システム科との合同授業となる。後期は科独自の科目が増えてくる。

2年次に関しても今年度同様の独自科目を考えている。

岸委員：今後ホームページ作成の需要が減っていくと考えている。SNSが増えていくと思う。山形でもその傾向にあり、ホームページ作成の部門を縮小している所もある。要はGoogle検索やGoogleMAPに引っかかりさえすれば効果は大きいので自社ホームページにこだわる必要はない。

渡辺委員：貴重なご意見として検討事項とする。

委員長：YouTubeについても考えていこうと思っている。

③ 建築科

梅津委員：

次年度は進級生がないので1年時のみのカリキュラムとなる。

基本的には昨年度と同等のものになる。2級建築士受験の必須科目が多いので、本校独自の科目は限られることとなる。最前より課題としていた法規の授業を増やすつもりだ。

委員長：法規の代わりに都市デザインを減らすことになる。独自の科目としてデッサンも増やした。また2級建築士の受験要件が変わるので対応していきたい。

半澤委員：在学中に受験可能になるのは大変いいことだと思う。自分の会社の受け持ちの授業の中での現場実習を学生がとても生き生きと行っている。カリキュラムにキャリア実習があるがインターンシップ先をどうやって決めているのか。

教頭：建築科に限ったことではないが学生に自分で探させている。そこも含めて実習だと考えている。

委員長：インターンシップだけではなく、ボランティア、アルバイトも含めて広く考えている。

半澤委員：時期や期間はどうか。

委員長：基本は夏休み終了前2週間としているが。短時間を長期で行う学生もいる。最後に発表会も行っている。

教頭：就職指導をしていて感じるがアルバイト経験は非常に役立っている。学生の就職に対する考えが全く変わってくる。

#### ④ ファッション・プロモート科

堀川委員：

基本的には今年度と同様とする。1・2年合同のマーケティングは次年度ビジネスマナーになる。今年度導入のPhotoShopは好評だったため続けていく。

和裁については技能五輪に向けて段階的な課題を設定している。

技術だけではなく検定取得を通して知識の取得をさせている。

岸委員：自己点検・自己評価の資料で2年次技能五輪に挑戦できなかったとあるが指導が困難だったのか。

堀川委員：指導体制の準備はしていた。洋裁、和裁ではなくフラワー装飾の学生であり

本人が五輪より検定を優先したいとのことだった。結果的に国家資格を取ることができた。

委員長：逃げてしまった部分はあるのではないかと。後になって残念がっていた。洋裁、和裁の学生は出場を続けている。

#### ⑤ 医薬事務・企業会計科

教頭：

今年度入学生から名称を、総合キャリア科から医薬事務・企業会計科に変更した。

一年間職業意識を持って学んでくれた。認知症サポート講座は引き続きやっていきたい。

2年次の共通科目でコンピュータ会計を入れた。どんな職業に就くにしても会計の基礎知識は必要だろう。コース別科目のFP基礎は現役のフィナンシャルプランナーの先生に持ってもらおう。ヘルスサポートは社会体育、救急法、心の健康等について学ぶ。

佐藤委員：専攻にかかわらず広く学べるバランスのとれたカリキュラムだと思う。認知症サポート講座はぜひ進めてほしい。

委員長、教頭：自分たちも参加して大いに思うところがあった。

佐藤委員：認知症については日常生活の中での気づきが重要なので、よい試みだと思う。

半澤委員：他の人々とかかわる授業をしていることは大変良いと思った。医療の現場でも思いやりを持って接することができるのではないかと。

教頭：そこはビジネススキル、NIEの授業の中でも伝えている。2年生の学生が1年生をよく面倒を見てくれていた。

委員長：ファッションと医療関係の学生についてタブレットを使用してITセキュリティーを学ばせようと考えている。システム、ICT向けよりはより平易な内容を考えている。

岸委員：日々変わっていく部分もあるので良い試みだと思う。きちんと教えていないと個人の端末で個人のIDと職場のIDを切り替えてSNSを使用していて、誤って職場のIDに個人の考えを書込み炎上するような事例も起きている。

#### (2) カリキュラムについてのご意見

議長：今までのなかで(2)に関するような意見も出ているが更にあれば発言してほしい。

佐藤委員：県警とのコラボ企画はどうだったのか。

委員長：科を横断してのプロジェクトだったのでとても有意義だった。個々の学生の普段とは違った面も見え、公の場で発言することで自分に自信を持った学生もいた。社会貢献についての意識も高まった。

佐藤委員：自分が何のために勉強しているのかということが身をもってわかったのではないか。カリキュラム外でもそのような取り組みを進めてもらいたい。

委員長：依頼があつての単発の取り組みになる面はある。

佐藤委員：学園祭等でもやっているとよい。

委員長：人数が少なかったこともあり近年は学園祭を開催できていない。

岸委員：芸工大では卒業制作展示の場所に卒業生の作品も展示する取り組みをしている。

委員長：幼稚園協会のパンフレットをやりたいと働きかけているがなかなか進まない。皆様のご紹介をお願いしたい。

### (3) 学科等の設置についてのご意見・ご要望等

委員長：医薬、公務員関係が大原の影響もあり苦戦気味なのでご意見をお願いしたい。

半澤委員：いろいろな学科があり横断的な取り組みをしているのはよい。これからは一人でいろいろな才能を持った人が求められる。学生間の交歓、交流的な取り組みを進めてほしい。

委員長：eスポーツはどうか。

岸委員：日本では賞金が安いので難しい。せいぜい数百万程度だが海外では億になっている。そのためプロゴルフと同じように賞金を巡って見せるスポーツになっている。最近では中東の選手が活躍している。

委員長：人は集まるのか。

岸委員：集まるだろうが結果を出すのが非常に厳しい。体力、動体視力等一般のスポーツと同様のトレーニングが必要となる。

委員長：技能五輪に向けてアスリート精神との指導をしてきたがそこは同じ。

岸委員：あと設備が高価になる。一台300万円以上のパソコンが必要になる。

委員長：VR(仮想現実)、AR(人工現実)はどうか。

岸委員：いずれ普及するのは間違いないがちょっと先が見えない。MR(混合現実)が建設業界で使われ始めているようだがハードが高い。VR機器は安くなってきている。

司会：教頭

#### 4 その他

教頭：

自己点検・自己評価の総括の中で年度目標として

- 1 高等教育修学支援対象校として認定を受け、学ぶ意欲のある学生に対し経済的支援を行う。
- 2 教育内容の充実と、学生個々の支援により、中途退学生を発生させない。
- 3 2課程8学科のスケールメリットにより、本校の教育資源を最大限活用し、科目のオーダー的プロジェクトを行い、多様な学びを提供する。

を掲げているが、1は達成、2は1名の学生がまだ補講中だが達成の予定、3は今日の議論を踏まえ進めていきたい。

また同資料の教育活動④で

称号付与の方針(ディプロマポリシー)の設定を行い、卒業認定基準を明確にした。

専門学校 山形V.カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。

- i 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力
- ii 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力
- iii 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力

として実践している。

委員長：留学生について裕福でないものも多いためアルバイトを週当たり28時間、長期休暇中は週当たり40時間できることになっている。皆様のご協力をお願いしたい。近所で見かけることもあると思うが暖かく見守ってほしい。

以上